

地方自治法施行60周年記念貨幣(神奈川県)の表面図柄の説明

①千円銀貨幣(表面)(1.5倍/原寸)

『鶴岡八幡宮と流鏑馬』



- 「武家の古都・鎌倉」を代表する神社である鶴岡八幡宮と流鏑馬をデザインしています。
 - ※鶴岡八幡宮：鎌倉幕府を樹立した源頼朝が鎌倉入りした1180年に現在の地に造営したもので、幕府を守護するものとして位置付けられた神社。江戸時代に建築された上宮の本殿、幣殿等が平成8年に国の重要文化財に指定された。
 - ※流鏑馬：疾走する馬上からの矢を射る伝統的な騎射の技術・稽古・儀式。鶴岡八幡宮では、放生会（＝殺生を戒める儀式に端を発し、後に収穫祭・感謝祭の意味合いを込めた行事）等に伴う神事として奉納されている。

②五百円バイカラー・クラッド貨幣(表面)(2倍/原寸)

『鎌倉大仏』



- 鎌倉大仏（国宝・銅造阿弥陀如来坐像）をデザインしています。
 - ※鎌倉大仏：幕府と民衆の安寧を願う「鎮護国家思想」に基づき、武家政権の象徴にして守護仏として、鎌倉幕府が主導し、多くの民衆が勧進して造立されたとされる。像高は約11.5mあり、鎌倉時代に造立された当時の姿を今に留めており、明治30年（1897年）に国宝に指定された。